

八阪神社 所在地：三軒家東 6-14-12

通称下八阪神社といい、寛永2年(1625)三軒家地域の開拓者らが建立、素戔嗚尊すさのおのみこと(天照大神の弟)あまてらすおおみかみを奉祭したのが起源と伝えられる。安政2年(1855)社殿を改築、境内を拡張整備した。明治5年村社となり、同40年から4年間に新炭屋の高津宮(祭神仁徳天皇)、平尾の八坂神社(祭神素戔嗚尊)、千島の天満宮(祭神菅原道真)、北恩加島の天満宮(祭神菅原道真)の村社六社を合祀し、同44年5月、国から幣帛料を受ける神社に指定される。昭和11年5月社殿を改築したが戦災で焼失、同21年3月、仮社殿再建24年本殿、41年幣殿と拝殿が完成した。三軒家の地概況神徳で港町として



栄えた伝承により、同神社では、ささ付宝船を節分の夕方の参拜者に授ける習慣があり、これをまくらの下に敷いて寝るとよいことがあるといわれている。

